

2024年4月17日

山名 啓雄 メディア総局長 4月定例記者会見 要旨

○新年度を迎えて

(山名メディア総局長)

令和6年度は、新しい3か年経営計画の初年度にあたる年です。3年間で1,000億円規模の経費削減を行いながらコンテンツの質と多様性を確保していくため、「コンテンツ戦略の6つの柱」をあらゆる放送サービスのベースにして、この大きな課題に正面から向き合って参ります。

番組編成に関しては、4月1日から新しい番組がスタートしました。連続テレビ小説『虎に翼』は、第1話からヒロインの青年期を描いていますが、困難な時代に法曹の世界に飛び込んだ女性の「生きざまへの共感」や「個性的な俳優陣の演技が素晴らしい」といったご意見をいただくなど、今後が楽しみな内容となっています。

『午後LIVEニュースーン』は、「新しい情報をすぐに」というタイトルに込めた思いの通り、生放送ならではの情報を中継などを交えながらお伝えしているところです。

この2週間でも、急遽、内容を変更して、静岡県知事の会見の様態を伝えたり、8日には「山形県で車どうしが正面衝突した」という情報が入って来たため、ヘリコプターを飛ばして、カメラマンが現地の状況を生放送でリポートしたりしました。始まったばかりの番組なので、さまざまなチャレンジを行いながら、この時間帯での定着を目指してまいります。

夜の新番組では、NHKが放送してきた番組の中から現代につながるメッセージを読み解いていく、池上彰(いけがみ・あきら)さんナビゲーターの『時をかけるテレビ』についてです。番組直前に移設した『ドキュメント72時間』からの流れもよく、映像資産の有効活用という意味でも、引き続き厳選してお届けしていきたいと思えます。

そして、新たなフラッグシップ番組になることを目指してスタートした、『新プロジェクトX』についてです。初回は東京スカイツリーの建設に挑んだ技術者と職人たちのドラマについて、放送時間を拡大してお伝えしました。

「男性の中高年世代に見てもらえるのではないかと」思っていました。それ以外にも、男性の10代や20代といった若い層や、女性の20代や50代といった、幅広い層に大変よく見ていただき、手応えを感じているところです。

視聴者のみなさまからは「日本人の誇りと自信を取り戻す番組だ」といった大変うれしい声や、SNSでも「実際の映像記録があるからこそその凄みを感じる」といったご意見をいただいています。

ニュース番組では、記者出身のキャスターを2人体制にして臨んだ『ニュースウオッチ9』や、こちらメンバーを一新してお伝えしている『サタデーウオッチ9』が、男女50代以上によく見られており、順調なスタートを切ったと考えています。『ニュース7』にも、新しいアナウンサーに対して「好感が持てる」といった声や「リラックスして見られる」といった意見をいただいています。

最後にBSです。MLBや日本のプロ野球が始まり、スポーツと一般番組を最適なバランスで編成することがポイントと考えています。MLBについては、大谷選手や山本投手のドジャースや鈴木選手、今永投手が活躍しているカブスの試合を中心に中継していますが、前年度に続き、よく見られています。

また、夜の時間帯ですが、水曜から金曜のプロ野球中継が、ほぼ前年どおり。一般番組では、月曜と火曜の『大河ドラマ～篤姫』や『ワイルドライフ』などが、前年度と同様か、それ以上に見られています。

4月からの新しい編成が、視聴者のみなさまに受け入れられているのではないかと分析しているところです。

令和6年度は、パリオリンピック・パラリンピックといった大型スポーツイベントや放送100年の節目の年度です。また、能登半島地震の復興の状況や阪神・淡路大震災から30年など、公共メディアとしてきちんとお伝えすべき情報が数多くあります。みなさんに「NHKは必要、あってよかった」と感じていただけるように、しっかり取り組んでいきたいと思えます。

○「自分らしく、Eテレ。～性・ジェンダーを考える日～」について

(山名メディア総局長)

続いて「自分らしく、Eテレ。」についてです。これは2022年から始まった子どもや若者の幸せについて考える「君の声が聴きたい」と連動したキャンペーンになります。(「君の声が聴きたい」[報道資料・ラインナップ](#))

「君の声が聴きたい」プロジェクトでは、これまでに約2万人の声に耳を傾けてきました。3年目のことは5月4日を軸に総合・Eテレ・FM・配信、各メディアの特性を生かしたコンテンツを深くそして広くお届けします。

このうちEテレでは、子ども番組を提供してきた草分けとして、新たな価値観やライフスタイルなど社会の変化に対応し、コンテンツを深化させてきた特性をいかして、「性・ジェンダー」をテーマに、5月4日に終日特別編成をすることにしました。

(担当者)

「君の声が聴きたい」プロジェクト、Eテレでは5月4日に「自分らしく、Eテレ。～性・ジェンダーを考える日～」をキャッチコピーとして、終日、特別編成をします。

(「自分らしく、Eテレ。～性・ジェンダーを考える日～」[報道資料](#))

Eテレは、現在もこれまでも「性・ジェンダー」のテーマと向き合い、さまざまな番組を制作してきました。それらのアーカイブスも活用しながら、子どもから大人まであらゆる世代の皆さんといっしょに、「自分らしく生きることの大切さ」を考えていく1日にしたいと考えています。自分らしく生きたいと願っても、あらぬ誹謗中傷を受けたり、性被害に遭ったりするなど、深刻な問題が後を絶たないなかで、“自分の心を守り、体を守る知識”を、ひいては“相手を敬い、人としての尊厳を守る”ことの大切さといったメッセージを、発信していきたいと思えます。

この日の特別編成は、4部構成です。

第1部は、午前10時から11時30分。幼児・子どもと、保護者向けに、楽しみながらいっしょに学べる番組をセレクトしています。ナビゲーターは、小学校の特別支援教育向けのコンテンツで、多様性の理解を深めるための番組「u&i」のキャラクター・ジローはかせ(笹野高史さんが声を担当)とふみ先生(二階堂ふみさんが声を担当)のお二人です。小さな子どもたちも理解できるわかりやすい演出の番組やアニメ、そして、保護

者や教育関係に携わる皆さんにとっても「子どもたちにこうやって説明をすればいいんだ」と、ヒントにしていだけるような、性・ジェンダーをテーマにした幼児子ども向け番組を放送します。

第2部は、午後2時から5時。自分の性のあり方に気持ちが揺らぐことも多い10代と、その保護者世代に向けて放送します。セクシュアリティやジェンダーについて10代とメンターたちが本音で語りあう番組「虹クロ」に出演中の、ロバートキャンベルさんと井手上漠さんがナビゲーターです。これまで放送した「虹クロ」の中から好評だった回のアンコール。そして、トランスジェンダーの中学生ハナが学園生活を通じて生きる力を学んでいくオーストラリアのドラマ「ファースト・デイ2」を放送します。各番組の詳細は、ご覧のとおりです。

第3部は、夜8時から9時30分。「はなしちゃお！～性と生の学問～」の90分拡大版を放送します。出演は、ラランドのサーヤさんと、コンドームの妖精・まっきいを演じるマキタスポーツさん。今回のテーマは、ご覧の4つです。性経験をめぐる価値観の変遷を歴史社会学の観点から紐解く内容。また、気持ちいいと感じるホルモン「オキシトシン」の最新研究や、メディア学を切り口にポルノと社会の関係性を考えるもの。そして、衣服で自らを装う異性装(いせいそう)を社会文化学から解き明かします。

第4部は、深夜1時から3時。「朝までラーニング！」です。あらゆる世代・あらゆる立場の人たちが、性について基礎から学び、“よりよい性”を考えることができる、3つの特別授業をお届けします。

1時限目のテーマは基礎編。性的同意などの心のモヤモヤを心理学の見地から理解し、人との向き合い方を考えます。

2時限目のテーマは、最前線の性教育です。学校現場を密着取材し、性教育の意義と課題について学びます。先生は、小・中・高で年間100回以上の性教育講義を行う助産師にお願いをしています。

そして3時限目。50年以上、性教育を研究してきた元一橋大学講師に、ご自身の人生経験も踏まえ見出した性教育と“よりよい性”について講義をして頂きます。

生徒役として出演するのは、父と娘という親子芸人として活躍されている完熟フレッシュのお二人。現役大学生の池田レイラさんと、父親の池田57CRAZYさん。進行は豊島実季アナウンサーです。

5月4日のEテレは「君の声が聴きたい」プロジェクトの一環で、「自分らしく、Eテレ。～性・ジェンダーを考える日～」をテーマに、今ご紹介した4部構成で放送します。子どもや若い世代の幸せを願い、親や保護者世代も含めた皆さんに向けて、ご自身の価値観を見つめ直す、新たな気づきや学びを得る、そんなヒントを提供できる一日にしたいと思っております。

(山名メディア総局長)

最後に、ラジオの取り組みも紹介します。お手元の資料の最後のページ、「君の声が聴きたい」プロジェクトの放送ラインナップで、FM ラジオの部分をご覧ください。FMでは「君声ラジオ」というタイトルで日中から夜にかけて3部構成で特集番組も編成します。

第1部と第3部では総合テレビで若者に支持されている音楽番組 Venue101 の濱家隆一さんと生田絵梨花さんが FM に登場します。今をときめく人気アーティストやアスリートなどのゲストと共に、リアルタイムに送られてくる若者の悩みや声を紹介するほか、第2部では不登校やいじめに悩む子どもたちに寄り添います。

そして、第1部と第3部の内容は NHK MUSIC の YouTube チャンネルで一部、動画でも配信します。

「君の声が聴きたい」プロジェクトは、テレビ、ラジオ、デジタルとさまざまなメディアを使って若者たちのリアルな声に耳を傾け、多様な一人ひとりが自分らしく生き生きと暮らせる共生社会の実現を後押ししていきます。

(以上)